

2011-B					
拠出金・基金の名称:		国際赤十字・赤新月社連盟拠出金			
種 別		イヤーマーク ホン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省 国際協力局 緊急・人道支援課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 自然災害被害者に対する支援。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率 (%)
平成23年度	604,310	6,790	-	1米ドル = 89円	100%
平成22年度	677,740	7,210	-	1米ドル = 94円	100%
平成21年度	278,100	2,700	-	1米ドル = 103円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 IFRCは、各国赤十字・赤新月社の国際連合体であり、自然災害・緊急災害時の被災者に対する救援活動を主な任務としている。災害時に各国赤十字・赤新月社間の調整や国際救援活動の指揮にあたる他、各国社の人道機関としての能力強化のための開発協力を実施。2008年の中国四川省地震や2010年のハイチ大地震においても、人道支援活動に指導力を発揮し、我が国赤十字社を含む各国赤十字・赤新月社間の調整を行い、被害者の救援に大きな役割を果たしている。2011年には、自然災害の被害がおびただしいアフガニスタン周辺国及び干ばつや洪水の被害の大きいケニア、ソマリア、中央アフリカ、ベナン等に支援した。 また、2009年11月から、IFRC会長は近衛忠輝日本赤十字社社長が勤めており、我が国との協力関係が強化された。 なお、2007年7月に、IFRCはジュネーブ本部内の5つの地域部を廃止し、地域事務所を世界7カ所に設置することにより、事業の合理化を進めている。					